

関東信越国税局長賞

税金のありがたさ

佐渡市立南佐渡中学校 3年 風間 美希

「子どもは毎回530円なの?」「そうだよ。医療費が助成されているんだよ。」ある日病院に行った時、母とこんな会話をした。薬の量や検査の種類は人それぞれ違うのになぜ同じ金額を払っているのだろうと私は疑問に思った。調べてみると、「子ども医療費助成制度」というものを知った。これは18歳までの子どもが医療機関を受診した時に保険診療の自己負担額の全部または一部を助成する制度のことで税金や保険料によってまかなわれている。もし税金が使われていなかったら、ものすごく高いお金を支払わなければならない。それによって病院に行きづらくなり、日々を健康に過ごすことができなくなるだろう。

また、他の税の使い道について調べてみると教育費にも使われており、学校の建設や修理、私達が使っている教科書や机、いすの購入も税金によって支払われている。また、今は一人1台タブレットが配付されている。私達はタブレットを活用するようになって、調べ学習や友達と情報共有することができ、便利になった。私は学校のお金によって買われているのだと思っていたが、税金によって多くの学校が成り立っているんだなとすごく驚いた。

昨年の冬、私が住む羽茂地区に何年ぶりかの大雪が降った。中学校までの道も雪が多く、車も進めないほど積もった。電線が切れ、インターネットが繋がらなかったり、停電した家もあった。寒い中、おじさん達が除雪をしてくれたおかげで休校も長引かずに学校生活を再開することができた。除雪作業にも税金が使われている。あの量の雪を個人の手作業で雪かきしていたら、何日もかかってしまっていただろう。

このように税金は知らない間にたくさんの方に使われている。税について調べる前は本当に未知だったが、こんなにも私達の生活に大きく関わっていることに感謝したい。私達が安心して健康に暮らせるように使われている税金。私達の生活は一人一人が納めてくれた税金によって守られている。

今後、少子高齢化が進んでいき、年金や医療、介護などの社会保障費が増加し、さらに多くのお金が必要になるだろう。国民には納税の義務がある。今の私が納めるのは消費税くらいだが、仕事をするようになったら私達の世代が納める立場になる。税金とは、社会の一員として生活していく会費のようなものである。だから、私は税の大切さについて理解し、将来のために助け合いながら支払っていく必要があると思う。